

アンケートの質問項目（詳細）

「 」...必要に応じて、子どもの意見を聞いて答える設問

No	質問項目	保護者	教職員	市民
回答者について				
1	お住いの郵便番号 お住いの住所の郵便番号を記入してください。	保護者		市民
2	児童・生徒の学年 お子様の学年に当てはまるものを選んでください。 (1) 小学校 5 年生 (2) 小学校 6 年生 (3) 中学校 2 年生 (4) 中学校 3 年生	保護者		
3	児童・生徒が通学している学校 お子様が通学している学校を選んでください。 < 小学校 > 崇善 港 松原 富士見 花水 旭 大野 中原 豊田 神田 城島 岡崎 金田 土屋 吉沢 金目 横内 八幡 南原 真土 松が丘 相模 なでしこ 勝原 松延 みずほ 山下 大原 < 中学校 > 江陽 太洋 春日野 浜岳 大野 神田 土沢 金旭 中原 大住 山城 神明 金目 横内 旭陵	保護者		
4	勤務している（住んでいる地域の）学校 勤務している（住んでいる地域の）学校を選んでください。 < 小学校 > 崇善 港 松原 富士見 花水 旭 大野 中原 豊田 神田 城島 岡崎 金田 土屋 吉沢 金目 横内 八幡 南原 真土 松が丘 相模 なでしこ 勝原 松延 みずほ 山下 大原 < 中学校 > 江陽 太洋 春日野 浜岳 大野 神田 土沢 金旭 中原 大住 山城 神明 金目 横内 旭陵		教職員	市民
5	役職・勤務年数 あなたの役職などを選んでください。 (1) 校長 (2) 教頭 (3) 教務主任 (4) 学年主任 (5) 担任 (6) 1 ～ 5 以外の総括教諭又は教諭 あなたの教職経験年数又は勤務年数を選んでください。 (1) 10 年未満 (2) 10 年～19 年 (3) 20～29 年 (4) 30 年以上		教職員	

学校全般について			
6	これからの学校教育で重視してほしいこと	保護者	教職員 市民
これからの学校教育で重視して欲しいことについて、考えに近いものを選んでください。 必要に応じて、お子様の意見を聞いてお答えください。 (1) 一人一人の状況に応じたきめ細やかな指導 (2) グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境 (3) 競争意識をもって学力を高めあうことができる環境 (4) たくさんの友達ができること (5) 学年を超えた交流・活動(行事等)ができること (6) 集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること (7) クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと (8) その他(自由記述)			
7	学校の小規模化を解消する手法	保護者	教職員 市民
小規模校の解消のための手法はどう思いますか。当てはまるものを選んでください。 必要に応じて、お子様の意見を聞いてお答えください。 (1) 通学区域を見直して各学校の子どもの人数の均衡を図る (2) 小規模の学校は統合して適正な規模とする (3) 解消する必要はない (4) その他(自由記述)			
8	適正化への取組で重視すべき点	保護者	教職員 市民
適正化への取組で重視すべき点は何だと思えますか。当てはまるものを選んでください。 必要に応じて、お子様の意見を聞いてお答えください。 (1) 通学時の安全性の確保 (2) 児童・生徒数や学級数の多い・少ない (3) 学校と地域のつながり (4) 学校施設等の充実 (5) 通学距離を考慮する (6) その他(自由記述)			
学級数等について			
9	児童・生徒が所属する学年と学級の人数	保護者	
お子様が所属する学級の人数は何人ですか。当てはまるものを選んでください。 (1) 0～10人 (2) 11～15人 (3) 16～20人 (4) 21～25人 (5) 26～30人 (6) 31～35人 (7) 36～40人			
10	現在の学級や学年の状況	保護者	
お子様が所属する学年は何学級ありますか。当てはまるものを選んでください。 (1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級 現在の学級や学年の状況について、各項目で当てはまるものを選んでください。 必要に応じて、お子様の意見を聞いてお答えください。 (1) 一人一人の状況に応じたきめ細やかな指導が受けられている (2) グループ学習や話し合いを活発に行っている (3) 子ども同士が良い人間関係を築いている (4) 子どもが自分の魅力や良さを発揮できている (5) 学年を超えた交流・活動(行事等)が活発である (6) 保護者と教員の連携がとれている (7) その他(自由記述)			

11	1 学級当たりの望ましい人数とその理由	保護者	教職員	
1 学級当たりの人数は、どのくらいが良いと考えますか。当てはまるものを選んでください。 (1) 0 ~ 10 人 (2) 11 ~ 15 人 (3) 16 ~ 20 人 (4) 21 ~ 25 人 (5) 26 ~ 30 人 (6) 31 ~ 35 人 (7) 36 ~ 40 人				
前問の選択肢を選んだ理由について、当てはまるものを選んでください。 必要に応じて、お子様の意見を聞いてお答えください。 (1) 一人一人の状況に応じたきめ細やかな指導が受けられる (2) 発表やグループ活動などで一人一人の活躍の機会が多くなる (3) 子どもたちの人間関係が深まりやすい (4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる (5) 集団の中で切磋琢磨することができる (6) 多様な価値観に触れることができる (7) その他 (自由記述)				
12	1 学年当たりの望ましい学級数とその理由	保護者	教職員	
1 学年当たりの学級数は、どのくらいが良いと考えますか。当てはまるものを選んでください。 (1) 1 学級 (2) 2 学級 (3) 3 学級 (4) 4 学級 (5) 5 学級				
前問の選択肢を選んだ理由について、各項目で当てはまるものを選んでください。 必要に応じて、お子様の意見を聞いてお答えください。 (1) 一人一人の状況に応じたきめ細やかな指導が受けられる (2) クラスのメンバーが固定され、子どもたちの人間関係が深まりやすい (3) 学年を超えた交流・活動 (行事等) ができる (4) クラス替えができる (5) 多様な価値観に触れる機会がある (6) クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる (7) その他 (自由記述)				
13	学校の規模を考えた場合の対応	保護者	教職員	市民
学校の規模を考えた場合、どのようにするのが望ましいか、当てはまるものを選んでください。 (1) 学校規模の適正化を進めるべき (2) 現行のまま学校数を維持 (3) その他 (自由記述)				
通学・学区について				
14	現在の通学時間・通学手段	保護者		
お子様の通学時間 (片道) を選んでください。 (1) 15 分未満 (2) 15 分以上 30 分未満 (3) 30 分以上 45 分未満 (4) 45 分以上				
お子様の通学手段を選んでください。 (1) 徒歩 (2) 自転車 (3) バス (4) その他				
15	望ましい通学時間の許容範囲と通学するための配慮	保護者	教職員	
通学時間 (片道) はどのくらいが許容範囲ですか。当てはまる項目を選んでください。 (1) 15 分未満 (2) 15 分以上 30 分未満 (3) 30 分以上 45 分未満 (4) 45 分以上				
前問で回答した通学時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮が必要だと考えますか。当てはまるものを選んでください。 (1) 住所から近い場所に当たる学校へ通学できるようにする (2) 公共交通機関 (バス等) が利用できるようにする (3) スクールバスの運行 (4) 自転車が利用できるようにする (5) その他 (自由記述)				

16	学区の見直しをする場合に重要と考える事項	保護者	教職員	市民
学区の見直しをする場合、次の項目は重要ですか。当てはまるものを選んでください。 (1) 人数や学級数 (2) 安全に通学できる距離と時間 (3) 1つの小学校から2つ以上の通学校に分かれないようにする (4) 自治会が複数の学区にまたがらないようにする (5) その他(自由記述)				
学校と地域の関わりについて				
17	地域連携の取組の中で、力を入れていきたい、重要と思うもの		教職員	市民
今後、地域連携の取組の中で、力を入れた方が良いと考えるものを選んでください。 (1) 各教科等及び総合的な学習に係る取組 (2) 特別活動に係る取組 (3) 特色ある学校づくりに係る取組 (4) キャリア教育に係る取組 (5) 児童・生徒指導に係る取組 (6) 環境整備に係る取組 (7) 校務支援に係る取組 (8) 地域行事参加に係る取組 (9) 地域施設訪問に係る取組 (10) 地域住民の生涯学習に係る取組 (11) 学校行事参加に係る取組 (12) 防災・交通安全に係る取組 (13) 特になし (14) その他(自由記述)				
18	地域に学校がこれまで果たしてきた役割と期待する役割		教職員	市民
地域においてこれまで学校が果たしてきた役割について、当てはまるものを選んでください。 (1) 子どもたちの学びの場 (2) 子どもたちの放課後の居場所・活動場所 (3) 地域の防災拠点 (4) 選挙の投票所 (5) 地域の活動・交流の拠点 (6) スポーツ活動の拠点 (7) 文化・生涯学習の拠点 (8) 地域の公民館との連携 (9) その他(自由記述)				
地域において、これからの学校に期待する役割について、当てはまるものを選んでください。 (1) 子どもたちの学びの場 (2) 子どもたちの放課後の居場所・活動場所 (3) 地域の防災拠点 (4) 選挙の投票所 (5) 地域の活動・交流の拠点 (6) スポーツ活動の拠点 (7) 文化・生涯学習の拠点 (8) 地域の公民館との連携 (9) その他(自由記述)				
教育環境・学校施設について				
19	これからの学校施設に期待する機能		教職員	市民
これからの学校施設に期待する機能について、当てはまるものを選んでください。 (1) 安心・安全な学校 (2) 児童・生徒が快適に学習できる環境 (3) 教員が快適に働くことができる環境 (4) バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進 (5) 環境への配慮 (6) 地域の方が使うことができるスペースの充実 (7) 避難所機能の強化 (8) 子育て支援機能との複合化 (9) その他(自由記述)				

20	これからの学校施設に必要と思うもの		教職員	
	これからの学校施設に必要と思うものを選んでください。 (1) 普通教室の充実(広さ、設備など) (2) 特別教室の充実(広さ、設備など) (3) 少人数で学習・活動できるスペース (4) 大人数で学習・活動できるスペース (5) 図書やパソコンが備えてあり、調べ学習などができるスペース (6) 支援を要する児童・生徒が快適に学習・生活できるスペース (7) 職員が快適に執務・生活できるスペース (8) トイレ空間の充実 (9) 交流ができる休憩コーナーなど快適に過ごせる施設 (10) スロープやバリアフリースイールの設置など、バリアフリー、ユニバーサルデザインの充実 (11) 防犯カメラやＩＣカードでの入室など、防犯対策による安心・安全面の配慮 (12) 災害時に必要な設備(体育館のバリアフリースイール・シャワー等)の充実 (13) 食育の充実に資するランチルームの整備 (14) 地域の方が子どもたちと交流できるスペース (15) その他(自由記述)			
21	学校施設と地域のつながり		教職員	市民
	学校施設と地域のつながりについて、どのように考えますか。当てはまるものを選んでください。 (1) 体育館や校庭などのスポーツ施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする (2) 地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする (3) 図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする (4) 音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする (5) 安全性などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない (6) その他(自由記述)			
22	建て替える場合の考え方		教職員	市民
	少子化と学校施設の老朽化が進行している状況において、限られた財源の中で地域の拠点でもある学校施設の安全性を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で建て替えを進める必要があると思いますか。 (1) 市民の負担が増えても、すべての学校を建て替える (2) 地域ごとに建て替える学校を決めて、重点的に投資して建て替える (3) 建て替えは行わず、市民の負担が増えない範囲で、改修できる箇所だけ改修する (4) その他(自由記述)			
23	学校の再配置(統合等)の必要性	保護者	教職員	市民
	将来の児童・生徒数の減少及び学校施設の老朽化の現状も踏まえ、学校の再配置(統合等)の必要性について、あなたの考えに近いものはどれですか。 (1) 再配置(統合等)は、行うべきである (2) 再配置(統合等)は、どちらかというを行うべきである (3) 再配置(統合等)は、どちらかというを行わないことが望ましい (4) 再配置(統合等)は、行うべきではない			